

福祉と当事者のリアル

[講義] 第2学年 後期 選択 1単位

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

1. 本講義は土曜日に講義を実施する。

《担当者名》○大原 裕介（客員） 荻原 唯（客員）

【概要】

本科目は、地域社会で生きる多様で複雑な課題を抱えた全国でも著名な当事者や実践者をお招きし、リアルに触れる講話やディスカッションを実施する。相手や自分の価値観に出会い、「誰のために、何のために」これから学び、専門職として働いていくかを考える機会とする。

【学習目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 新たな価値観と出会い、個人の価値観を更新する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	オリエンテーション/ 生きづらさを抱えた人とともに生きる	外部ゲストとして、知的あるいは精神的な障害がありながら必要な支援を受けられず、犯罪を繰り返す累犯障害者の支援者や当事者等をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	田島光浩（特別講師） 伊豆丸剛史（特別講師） 大原、荻原
3	東大生のリアル ～休学をして福祉の現場で働くリアル～	外部ゲストとして、東京大学に在籍しながら福祉現場で働く方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	今井出雲（特別講師） 山本斐海（特別講師） 大原、荻原
4) 5	アイヌとともに生きる	外部ゲストとして、実際に二風谷に住んでいたことあるアイヌ文化の研究者をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	本田優子（特別講師） 大原、荻原
6) 7	これからの文化を創造する	外部ゲストとして、元毎日新聞論説員をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	野澤和弘（特別講師） 隈研吾（特別講師） 大原、荻原
8	「地域共生社会」とじぶん	外部ゲストとして、厚生労働省大臣官房総務課広報室長をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	野崎伸一（特別講師） 大原、荻原

【評価方法】

講義後に実施するリアクションペーパー（70%） 授業に参加する態度や姿勢、行動力（30%）

【備考】

教科書：ワークブックを使用する。（授業時に配布）

【学習の準備】

福祉のイメージを考えておくこと。

【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP5,4

【実務経験】

大原裕介（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。